

区長所信表明(要旨)1面からつづき

一般会計は、2,284億2,100万円、前年度比5.2%の増で、過去最大規模となっています。

予算編成にあたっては、健全で持続可能な財政基盤を構築するため、昨年度に引き続き一般財源ベースでのゼロシーリングを行うとともに、前例に捉われない積極的な事業の見直しや再構築、全事務事業の総点検による経費節減の徹底や新たな歳入確保策に加え、ICTの利活用による効率的な行政運営を積極的に推進するなどの見直しを図りました。また、区民税等の収納対策、民間委託の拡大など、行財政改革にも取り組み、予算に反映しています。

号線沿線まちづくり構想」を策定し、8号線延伸というチャンス为本区のまちづくりに着実に結び付けていきます。



▲地下鉄8号線、ついに延伸へ

本区の重要課題 地下鉄8号線の延伸

地下鉄8号線の延伸は、昭和47年3月に初めて国の審議会で答申されてから、この3月でちょうど50年が経過しますが、1/28、東京メトロが国土交通大臣に対して鉄道事業許可を申請し、いよいよ事業化が目前に迫っています。半世紀を要することとなりましたが、区と区議会、区民の皆様が一つになって、粘り強く必要性を訴え、絶え間なく活動してきたことがようやく実を結ぼうとしています。私自身も大臣や都知事をはじめとした関係者に、あらゆる機会を捉えて、8号線延伸を訴えてきましたが、ようやくここまで来たかと胸が熱くなる思いです。

しかし、8号線延伸は事業化がゴールではありません。2つの中間新駅を含めた沿線地域のまちづくりをしっかりと進め、さらには、その効果を区全体に広めていくことが、区にとっての重要な役割です。

このため、令和4年度については、地下鉄8号線事業推進室を設置し組織体制の強化を図った上で、区民、区議会の皆様とともに沿線地域の将来像やまちづくりの取り組みの方向性を示す「(仮称)地下鉄8

7つの重点プロジェクト

①水彩・環境都市づくり

本区の特徴である水辺や緑を効果的に活用し、水彩都市における賑わいや、うるおいのある生活を実現するとともに、「ゼロカーボンシティ江東区」の実現に向けた取り組みを推進していきます。

②未来を創る子どもを育むまちづくり

未来を担う子どもたちが健やかに成長できる社会の実現に向け、妊娠・出産から就学前の幼児教育・保育、学校教育に至るまでの、子育て・教育ニーズに対する切れ目のない支援を行っていきます。

③地域の活力を生み出すまちづくり

多様な世代・事業者の参画を得て、スポーツや観光・芸術文化活動の振興などさまざまな取り組みと連動させながら、地域コミュニティと地域経済の活性化を図っていきます。

④高齢者など誰もが支えあう社会づくり

人や地域がつながり、誰もが支えあい、安心して、その人らしい生活を送ることができる地域共生社会の構築に向け、本年3月に策定する「江東区地域福祉計画」に基

づき、きめ細かな取り組みを推進していきます。

⑤防災都市江東戦略

30年以内に70%程度の確率で発生すると予測される首都直下地震や、激甚化・頻発化する台風による風水害等、大規模自然災害から区民の生命・安全を守るため、関係機関等との連携を一層推進するほか、要配慮者利用施設の避難確保計画の策定支援に取り組んでいきます。

⑥オリンピック・パラリンピックレガシーの継承

東京2020大会は、コロナ禍という困難な状況の中での開催となりましたが、区内競技会場では熱戦が繰り広げられたほか、本区出身の堀米雄斗選手や区内企業所属の選手がメダルを獲得するなど、素晴らしい結果を残してくれました。

東京での開催決定以来、本区では全庁を挙げて、この大会が多くの方々の心に深く刻まれるものとなるよう、さまざまな取り組みを進めてきました。今後は、有明アリーナなどのレガシー施設を有効に活用するとともに、スポーツを通じた区民の健康づくりの促進や、子どもたちの体力向上などをレガシーとして未来に繋いでいくために、東京都等の関係機関と連携し、オリンピック・パラリンピックレガシーの継承に取り組んでいきます。

⑦臨海部のまちづくり

本区の臨海部は、東京2020大会のレガシー施設が集中するほか、豊洲、有明、青海、さらには海の森など開発の余地が多く残されており、大会後も、まちづくりに影響を与える変化が切れ目なく続くことが想定されます。

そのため、本年3月に策定する都市計画マスタープランにおいて、「未来の臨海部のまちづくり」を重点戦略に掲げ、広大な水辺や緑、スポーツ、観光等を通じ、ベイエリアの魅力を最大限活かした、夢のある将来のまちづくりを進めていきます。

令和4年度の主な取り組み

水と緑豊かな地球環境にやさしいまち

緑豊かなまちなみを創出

緑化対策については、区民・事業者・区の協働により、「CIG(みどりの中の都市)」の実現を目指します。

砂町魚釣場跡地整備事業では、工業用水道廃止に伴い12月に廃止となる魚釣場の跡地に、利用希望の多い区内4か所目となる区民農園の整備計画を進めていきます。



▲利用希望の多い区民農園を整備(写真は城東区民農園)

「ゼロカーボンシティ江東区」の実現を目指して

温暖化対策事業では、「ゼロカーボンシティ江東区」の実現を目指して、省エネ・創エネ設備の導入助成制度の活用や、子どもたちの環境学習「カーボンマイナス子どもアクション」の取り組みを促進するほか、区民や事業者に、ごみ分別の徹底やごみを出さない生活への転換など、CO2排出削減に向けた具体的な行動を求めています。

未来を担う子どもを育むまち

子育て支援と虐待予防・対応強化

待機児童の解消に向けては、地域ごとの保育需要を見込みながら、認可保育所などの必要な整備を行っていきます。

在宅子育て家庭への支援では、子どもの健やかな成長を総合的に

2面へつづく

障害理解と障害者とのコミュニケーション

「聴覚障害のある方」

第6回

聴覚障害のある方の中には全く聞こえない方と、補聴器等を使用することで聞こえる方がいます。外見からは聴覚障害があることがわかりにくいため、声をかけたのに返事が無いなど誤解されることがあります。

相手に伝わっているかどうかを確認しながら話す。音声や手話などの手段を問わず、複数の人が一度に話さないように注意する。筆談をする際は、短い文で簡潔に書く。

もしかして?と思ったら

聴覚障害は周囲から気づかれにくい障害です。みなさんの周りで音声での呼び出しや緊急の放送などに気づいていないと思われる方がいたら、まず声をかけてみませんか。声をかけてみて、聴覚障害がありそうだとわかったら、ぜひ筆談やスマートフォン画面、ジェスチャー等で情報を知らせてください。

思いやりの心をもって

全6回のコラムを通じて、さまざまな障害があることや外見だけではわからない障害もあることを知っていただけたでしょうか。みなさんの周りに困っている方がいたら、ぜひ思いやりのある行動をお願いします。

一人ひとりの思いやりが、障害のある人もない人も支え合う社会を育んでいきます。

障害者施策課 推進係

○手話通訳者等がいる場合も、通訳者ではなく聴覚障害者本人に向かって話しかけ、

☎ (3647) 4749
FAX (3699) 0329

対象の方は忘れずに申請を 住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金

[申請期日] 3/31(木) 必着 ※令和3年1月2日以降の転入者がいる世帯は5/2(月) 必着 江東区臨時特別給付金コールセンター ☎0120-352-875 8:30~18:00(土・日曜、祝日を除く)

凡例 日時 場所 集 対象・定員 費用 内容 師講師 保一時保育 縮切日 申 問 問合先 HP ホームページ Eメール